

袋井市 人権問題に関する市民意識調査報告書

調査概要

袋井市の人権尊重の定着意識を把握し、今後の人権啓発・人権教育に関する施策の基礎資料とするため実施しました。

- (1) 調査対象 袋井市に在住する18歳以上の方2,000人に、郵送にて実施
- (2) 調査期間 令和元年11月29日～令和元年12月13日
- (3) 有効回収率 35.6% (712人)

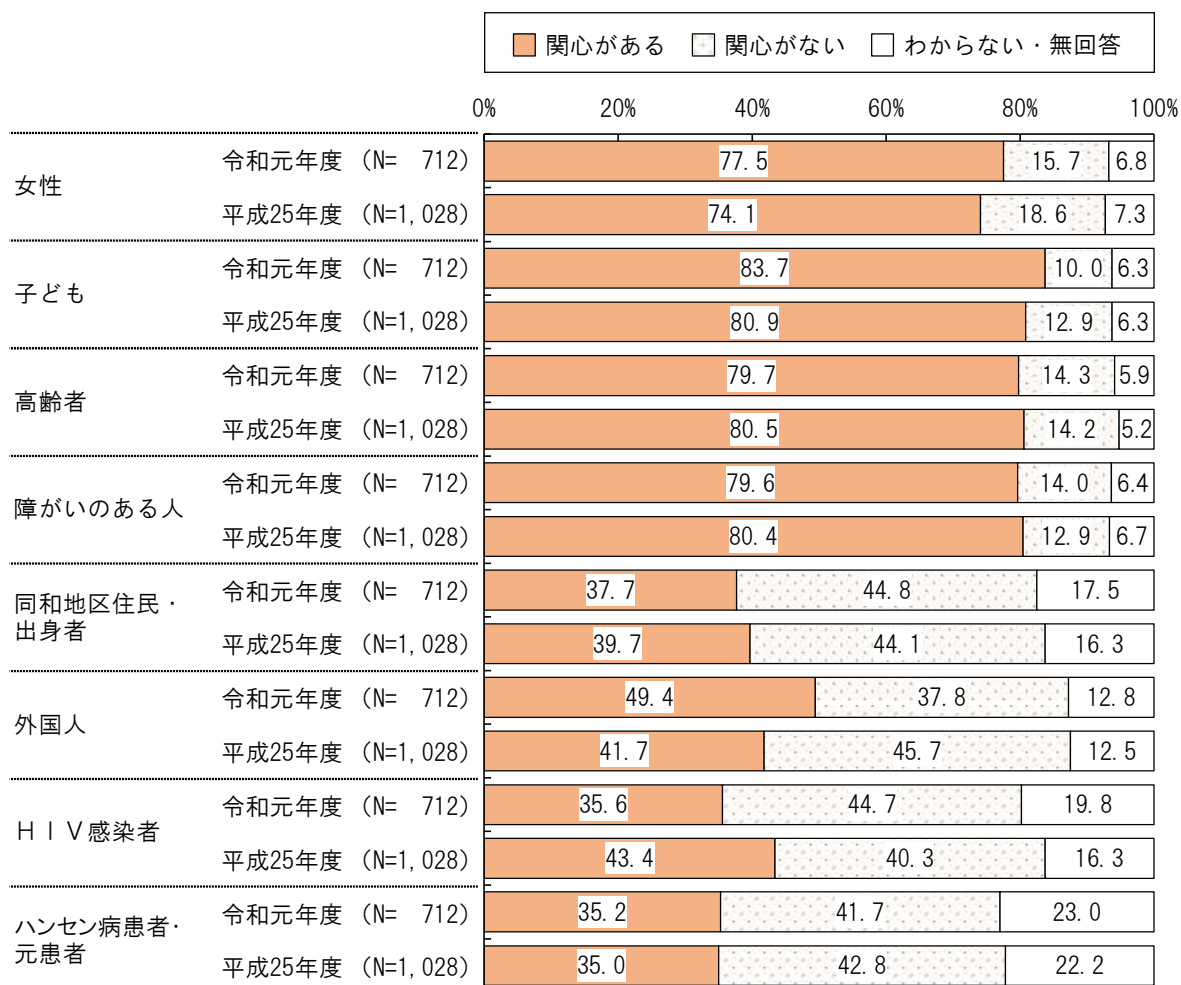
調査結果を見る際の注意事項

- (1) 基数となるべき実数は調査数Nとして記載しています。
- (2) 比率は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、百分率の合計が100%を超えることがあります。
- (3) 複数回答可能な設問の場合、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

結果概要

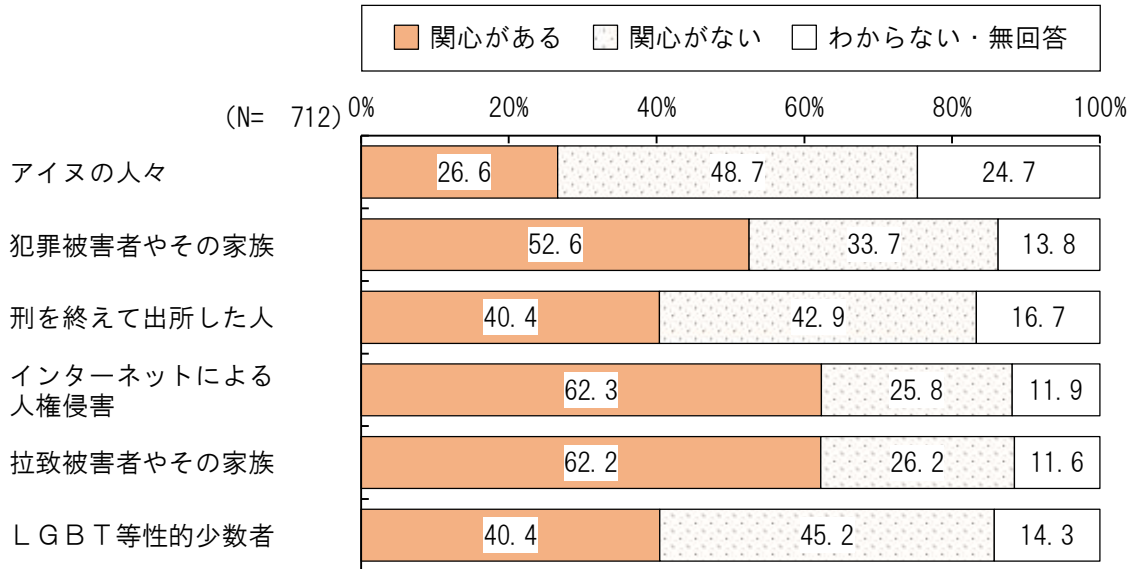
関心のある人権問題

- “女性” “子ども” “高齢者” “障がいのある人” の人権問題への関心が高い。“外国人” の人権問題への関心が高まっている。



今回の調査で新たに設けた項目（人権問題）への関心

- “犯罪被害者やその家族” “インターネットによる人権侵害” “拉致被害者やその家族” の人権問題への関心が高い。

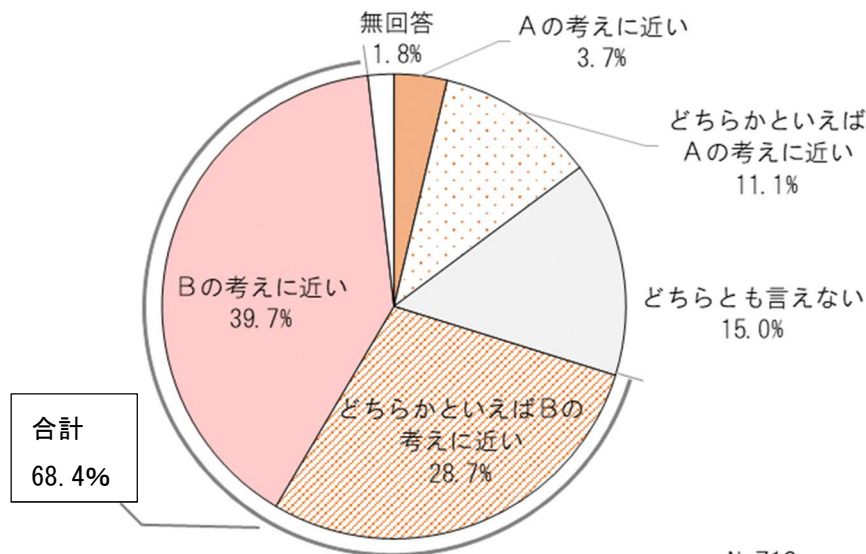


人権問題に対する考え方①（犯罪被害者やその家族）

問 ある事件に関して、報道により犯罪被害者やその家族のプライバシーに関することが公表されたとします。あなたの考えはどちらに近いですか。

A：事件に関わっている以上仕方ないことだと思う。

B：犯罪被害者のプライバシーが侵害されるのはおかしいと思う。



「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は68.4%となっています。

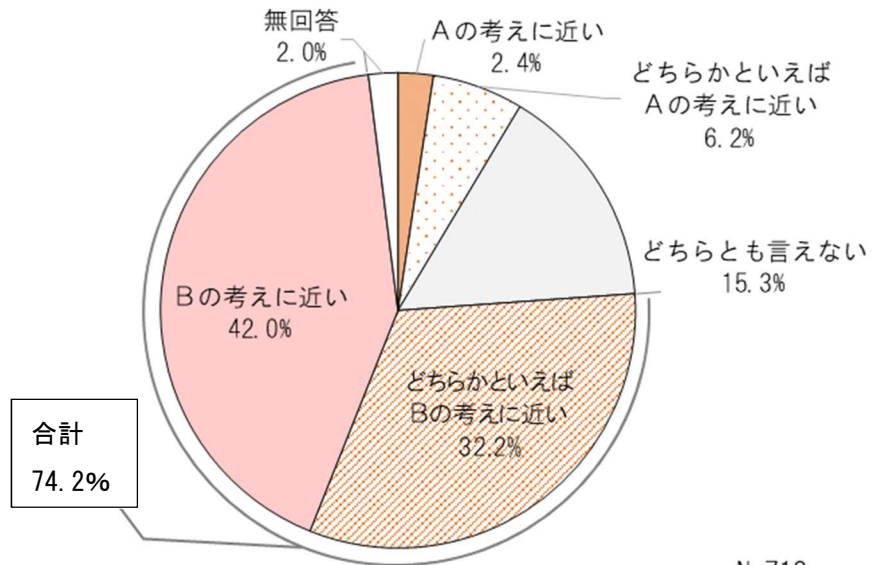
N=712

人権問題に対する考え方②（インターネットによる人権侵害）

問 インターネット上に、差別的な書き込みや、悪口などを暴露する書き込みがあったとします。このような書き込みについて、あなたの考えはどちらに近いですか。

A：書いてある内容が事実であれば、問題ないと思う。

B：書いてある内容が事実かどうかに関わらず、許されない人権侵害だと思う。

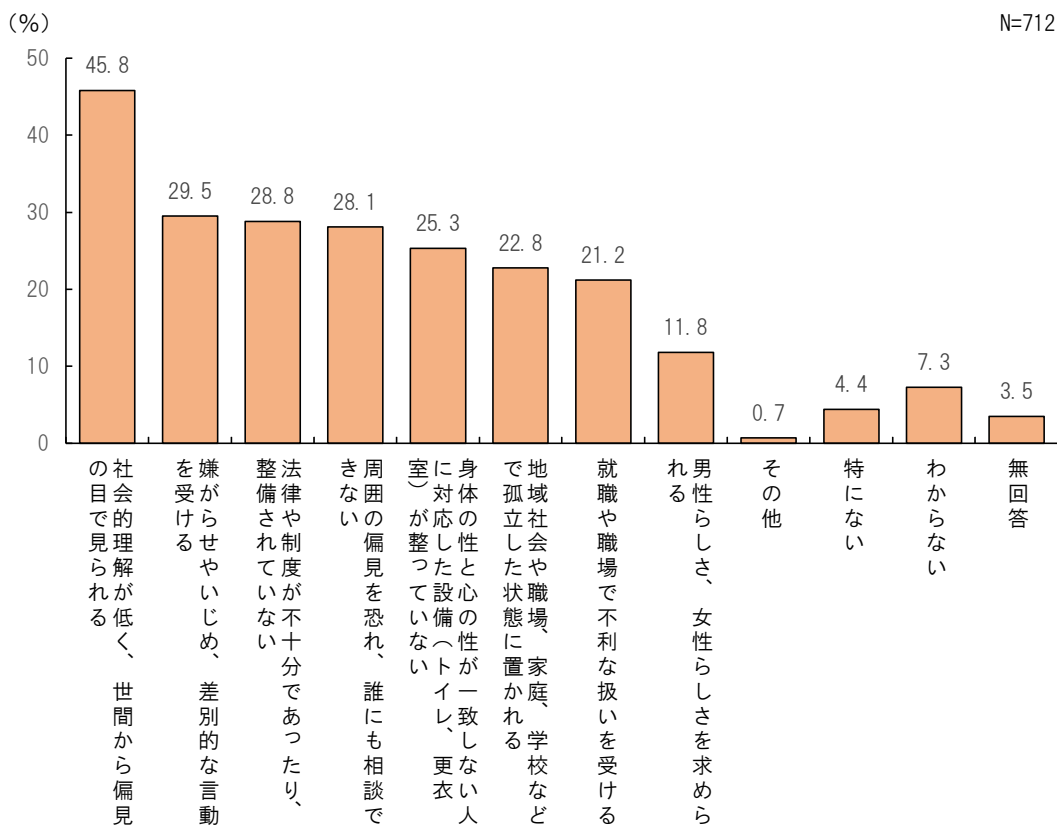


「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は74.2%となっています。

N=712

人権問題に対する考え方③（LGBT等性的少数者に関する問題）

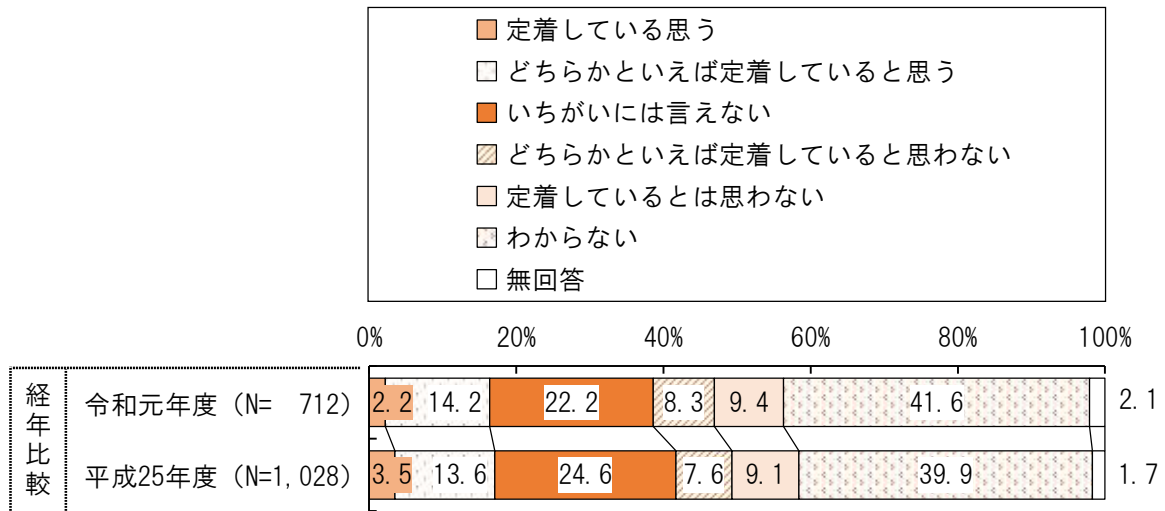
問 LGBT等性的少数者に関することで、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。（3つ以内で選択）



N=712

人権尊重の意識の定着

- 平成25年度調査に比べ、人権尊重の意識が定着していると考えている人が減少している。



人権意識を高めるために必要だと思う取り組み

- 学校や家庭での子どもの頃からの人権教育が求められている。

